

作業開始前に本書を必ず一通りお読みになり、内容をよく理解してから作業を始めて下さい。

'24- MT-09 / MT-09SP (8BL-RN87J) POWERBOX FULL - RS



<取付所要時間の目安>
約 50分

取付説明書

〈商品内容〉 ※サイズの単位:mm

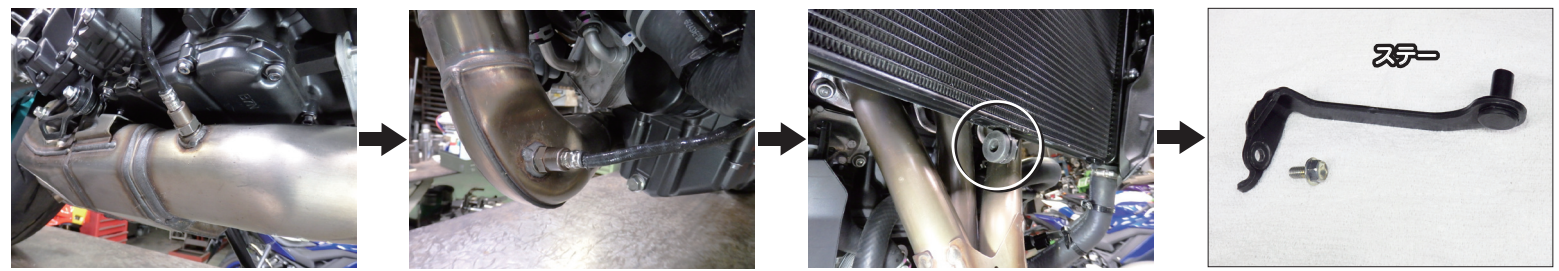
- | | |
|-------------------------|--------------------|
| ① POWERBOX FULL(一体型) ×1 | ③ 延長ハーネス(250mm) ×1 |
| ② 六角フランジナット (M8) ×2 | ④ 延長ハーネス(150mm) ×1 |



O2 センサーをマフラーに固定し、カプラーを結合する前にメインスイッチを ON にしますと、センサーの異常を感知してメーターの警告灯が点灯してしまいます。一度点灯した警告灯は簡単に解除できません。必ず、マフラー装着を全て完了した後にエンジンを始動する様にして下さい。万一警告灯を点灯させてしまった場合には専用の機材による点検、解除が必要です。車輛ご購入先のバイクショップに相談して下さい。

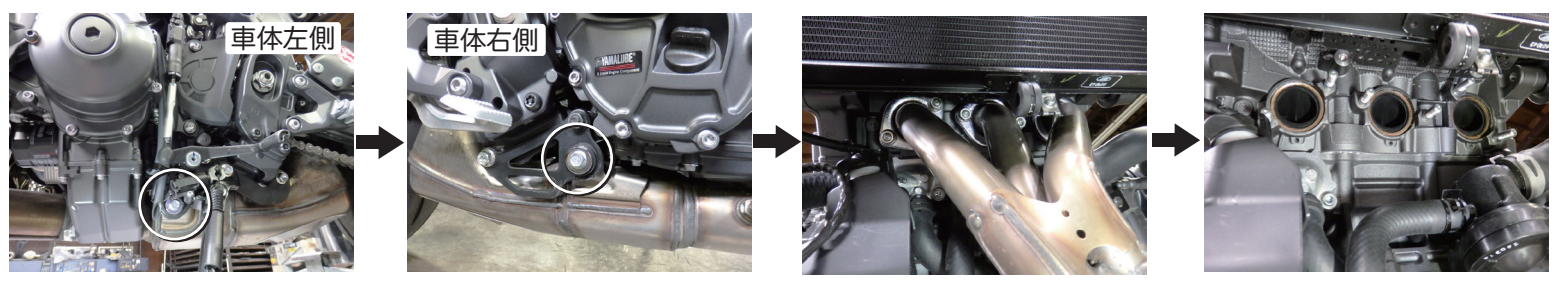
※ 本説明書内の写真は試作品の為、実際の商品とはパイプの形状等、一部異なる場合があります。
 ※ 作業は平坦な場所でエンジン、マフラーが完全に冷えた状態で行なって下さい。
 ※ 本製品にはエキゾーストガスケットは付属しておりません。取り付け後の排気漏れを防ぐ為にも車種専用の物をご購入の上、新品に交換して下さい。
 ※ ボルト類の組み付け時には、緩み防止の為に“ネジロック剤”を塗布の上、締め付ける様にして下さい。
 ※ キズ付き防止の為に、マフラー取り付け部廻りの塗装部分にはあらかじめガムテープ等を貼って養生しておく事をお勧めします。

1 純正マフラー を取り外します。



O2 センサー (2箇所) を配線を傷めない様に注意しながら純正マフラーから取り外します。配線を固定している結束バンドを外すと作業しやすくなります。
 ※センサーはあとで POWERBOX マフラーに再び取り付けます。

ラジエーター下のステーを取り外し、作業しやすい状態を作ります。



車体左側のマフラー固定部のボルトを取り外します。
 (ボルト、ワッシャはあとで再使用)

車体右側のマフラー固定部のボルトを取り外します。
 (ボルト、ワッシャはあとで再使用)

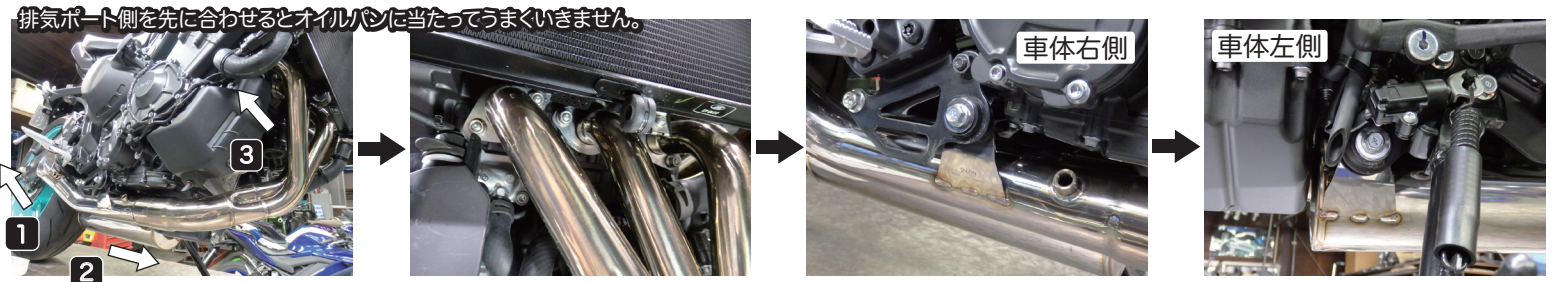
エンジン側固定部のフランジナット 6個を取り外し (あとで再使用)
 純正マフラーを車体から取り外します。

エキゾースト・ガスケットを新品に交換しておきます。(車種専用サイズの物を別途ご購入ください。)

※各部固定箇所を取り外している最中に自重でマフラーが下がってくるのを抑える為にマフラー下にジャッキを置いて受け止める様にしておくとスムーズに作業ができます。

●エキゾースト・ガスケット
 YAMAHA純正品番:4FM-14613-00

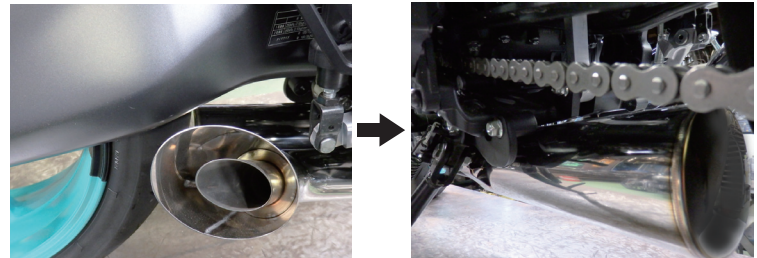
2 POWERBOX マフラーを仮組みします。



排気ポート側を先に合わせるとオイルパンに当たってうまくいきません。

エンジン下にはオイルパンが大きく下に張り出している為、まずはBOX部分がオイルパンよりも後ろ側に納まる様に持ち上げながらマフラー中間部分の固定穴位置 (2箇所) を合わせ、それから排気ポート側に差し込んで行くのがコツです。
 エンジン差込部の固定には純正マフラーに使用していたフランジナットを再使用します。

純正マフラーの時と同様にマフラー中間部分の左右のステーを固定します。
 左右2ヶ所とも、純正マフラーに使用していたボルト、ワッシャを再使用し、付属の六角フランジナット② と合わせて固定します。(仮組み状態にしておきます。)

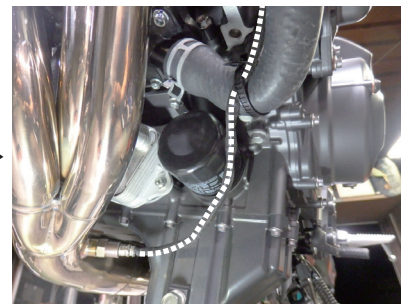
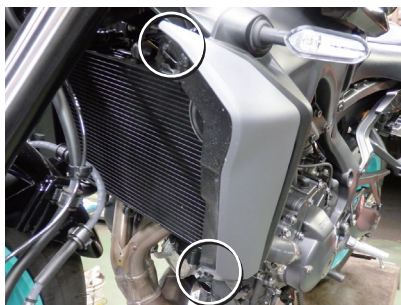


ドライブチェーンの張りは適正な状態を保つ様にして下さい。ドライブチェーンがマフラーに触れ出したらそれは適正な張りの範囲を超えています。すみやかにチェーン調整を行なって下さい。

マフラーとスイングアームとの隙間が確保されているか、フレームと干渉している所はないか、などを良く確認し、緩い仮止め状態から少しずつ締め付け量を増やしながらマフラー固定位置を決めて行きます。(特に転倒歴のある車輛は各部の隙間への注意が必要です。)

※ POWERBOXマフラーではO₂センサーの取り付け位置が純正マフラーの時とは変わり、配線の長さが不足する為、付属の延長ハーネスを追加して取り付けます。

左側



延長ハーネス(250mm) ③ を追加します。

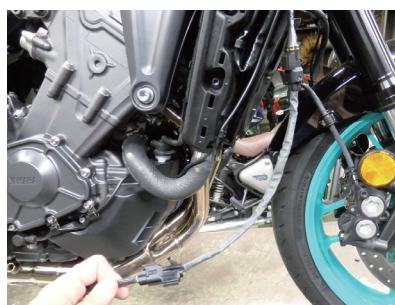


O₂ センサーをマフラーに固定し、カプラーを結合する前にメインスイッチを ON にしますと、センサーの異常を感知してメーターの警告灯が点灯してしまいます。一度点灯した警告灯は簡単に解除できません。必ず、マフラー装着を全て完了した後にエンジンを始動する様にして下さい。万が一警告灯を点灯させてしまった場合には専用の機材による点検、解除が必要です。車輛ご購入先のバイクショップに相談して下さい。



ラジエターのサイドカバーを取り外してコネクターを引き出します。純正のハーネスのままでは配線の長さが足りなくなる為、付属の延長ハーネスを割り込ませて結線します。O₂センサーをPOWERBOXマフラーに本締め固定したら、配線の取り回しを整えながらラジエターホースに沿って純正の結束バンドで固定します。
→ 配線を噛み込まないように注意しながらサイドカバー内に納めます。

右側



延長ハーネス(150mm) ④ を追加します。

③ 本締めを行ないます。

各部の隙間に問題のない事を確認し、仮組みしていた箇所全てを本締めします。

④ 作業中にマフラーに付いた汚れや油分をパーツクリーナーでしっかりと取り除きます。

汚れや油分がマフラーに付いた状態でエンジンをかけて熱が加わりますと、後で落とすのが困難になりますのでご注意ください。

⑤ エンジンを始動し、排気漏れがなく、装着状態に問題のない事を再度確認しましたら作業終了となります。

重要

- ※ マフラー装着完了後も取り付け状態やボルトの緩みのチェックは定期的に行なって下さい。
- ※ 装着直後はマフラー内部に残った油分により、白煙や臭いが発生する場合がございますが数日で解消されます。
- ※ 製品によりましてはサイレンサー下部・前方のリベット付近、パイプの一部などに小さな穴を空けています。これは水抜き用に設けられた穴ですので特に問題はございません。
- ※ 製品の構造上、ご使用状況によってはアフターファイヤーが発生する場合がございますが、性能や耐久性に問題が生じるものではありません。
- ※ この製品はステンレス素材を使用しております。ステンレスはその特性上熱によって焼け色が付いてきますが、異常ではございません。(状況によっては均一ではなくまだら模様焼け色が付くことがあります) また、この焼け色を落とすには弊社より発売中の『ホロクリンジェル SP』(品番: HC-03) をお使いいただきますと非常に効果的に焼け色を落とす事ができます。

上記の内容を良くご理解いただいた上でご使用下さい。